

7月地震火山グループ研究会 「東日本大震災（4）」

日時：7月29日（金）14:00 - 16:10

会場：京大宇治キャンパス 黄檗プラザセミナー室4, 5

14:00 - 15:00 森 信人（京大防災研気象・水象災害研究部門 准教授）

「東北地方太平洋沖地震津波の痕跡調査結果と被災状況」

要旨：東北地方太平洋沖地震津波の調査では、津波工学、海岸工学および地球物理関係研究者合が多数参加して全国的に大規模な津波痕跡調査が実施された。防災研は、全国の津波調査のための事務局として調査の調整と取りまとめを行った。

本研究会では、津波調査の概略と調査データの初期解析結果について概説する。

15:00 - 15:10 休憩

15:10 - 16:10 佐藤 まりこ（海上保安庁 海洋情報部 主任研究官）

「東北地方太平洋沖地震前後の海底の動き」

要旨：海上保安庁では、プレート境界地震の震源域である海域の地殻変動をモニターするため、海底地殻変動観測を実施している。これまでに、海洋プレートの沈み込みに伴う定常的な地殻変動や地震に伴う地殻変動を検出している。3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（M9.0）では、震央付近の海底基準点が同地震に伴い東南東に約24m移動し、約3m隆起したことがわかった。講演では、東北地方太平洋沖地震前までに得られていた成果、同地震に伴う海底の地殻変動及びその後の動き（余効変動）について報告するとともに、海底地殻変動観測技術の現状と今後の展望について述べる。